

行事報告書(研修)

報告者:溝部浩二

行事名	自然観察会
実施日時	2018年7月12日(木) 10時~14時 天候: 晴時々曇り
場所	仁川・広河原
テーマ	水生生物の採取・観察
講師	木村 俊三さん
参加者数	21名

内容(概要)

- ・今月の研修会は、梅雨明けの暑い一日、水生生物の採取と観察を楽しんだ。管理事務所前に全員集合して、仁川の広河原へ移動。河原では既に親子づれが川に入って遊んでいた。
- ・最初に、飯盛さんと、講師の木村俊三さんから今日の活動スケジュールと注意事項の説明を受けた。その後、3班に分かれて水生生物の採取を行った。一週間ほど前的大雨で、やや水量は多かったが、全員、元気よく川に入って、平瀬の底石を動かしたり、川辺の草むらを水生網ですくって、魚やトンボの幼虫などを採取した。約一時間、川に入って楽しんだ後、各班ごとに採取した水生生物を、「猪名川水質調査ハンドブック」や図鑑を片手に同定を行なった。その後、木村さんの指導で、同定の見直しをした。3つの班で最終的に同定した水生生物は、下記のとおりである。

1班	2班	3班
<ul style="list-style-type: none"> ・ドンコ ・カワヨシノボリ ・ムギツク ・ミナミヌマエビ ・スジエビ ・カワニナ ・モンキマメゲンゴロウ ・サワガニ ・モクズガニ ・ヒゲナガカワトビケラ ・ガガンボ ・コオニヤンマの幼虫 ・コヤマトンボの幼虫 ・ナミアメンボ ・オタマジャクシ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドンコ ・カワヨシノボリ ・ムギツク ・テナガエビ ・スジエビ ・カワニナ ・コシボソヤンマの幼虫 ・ヤマトンボの幼虫 ・コオニヤンマの幼虫 ・シミアメンボ ・ナミアメンボ ・オタマジャクシ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドンコ ・カワヨシノボリ ・テナガエビ ・スジエビ ・サワガニ ・カワニナ ・ガガンボ ・モンキマメゲンゴロウ ・ナベブタムシ ・ゲンジボタルの幼虫 ・コオニヤンマの幼虫 ・コヤマトンボの幼虫 ・オジロサナエの幼虫 ・ヒゲナガカワトビケラ ・ニンギョウトビケラ ・オタマジャクシ

- ・我々の採取した水生生物の中から、木村さんがいくつか選んで、小さな容器に入れ、皆に廻してくれた。ムギツク、コシボソヤンマの幼虫、ゲンジボタルの幼虫、トビケラの仲間などを観察。
- ・昼食後、木村さんから水生生物に関する話をお聞きした。
 - 「モクズガニ」: 海で産卵して脱皮した後、川に入って生活している。脚には毛が生えて長いので、いろいろな所をよじ登ることができる。武庫川の河口から、ここ仁川まで遡ってきた。
 - 「きれいな水」と「きたない水」:
 - きれいな水に生きることのできる生物がいるところが「きれいな水」で、酸素を取り込むのが上手な生物がいるところが「きたない水」。
- また、軟骨魚と硬骨魚の話、仁川の話など、面白い話をお聞きした。
- 暑期中、講師の木村さんには事前準備をはじめ、たいへんお世話になり、ありがとうございました。

<ミニ研修>

昼休みに、藤村 昇さん(星21期)による「季語に見る春の植物について」のミニ研修を行った。俳句には春の植物に分類される季語が、約200あるそうです。



コシボソヤンマの幼虫

ゲンジボタルの幼虫



トビケラの仲間

ドンコとカワヨシノボリ



魚の形をした流木に絡みつ়く蛇

オオシオカラトンボ